

未来づくり懇談会（木幡西）会議録

日 時：平成29年1月18日（水）

19：00～20：30

場 所：木幡西自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策課長、
農業振興課長、総合政策課長補佐

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○持続可能な矢板南部地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口推計等について説明。

5 意見交換

Q 1 県道矢板那須線の旧道の歩道に草が生えているので、愛ロード栃木等の取り組み入れる考えはあるか。

A 1 出来るだけ市で対応したいと考えているが、愛ロード栃木等の活動に協力してもらいながら管理に努めたい。

Q 2 水辺の楽校が役割を果たしていないので、廃止してほしい。

A 2 県の河川課の所管。矢板土木事務所と話し合いを持ちたいと思う。

Q 3 木幡アンダー設置の際に用水組合等と文書を交わしているのか。

A 3 大規模な開発などは用水組合等に相談することは必要だが、道路を県や市町が整備する際には、雨水排水の許可は特段得ていないと思う。

平成 28 年度	富田用水の河道計画を実施 仮設工事の実施
平成 30 年度	冠水対策工事实施予定

Q 4 川崎小東側の公園の東屋がかなり腐っている。また今まで石があったのに無くなっているのでは、盗難ではないか。

A 4 都市建設課で現地を確認する。

管理者である県に伝え、東屋の倒壊による事故防止のため使用禁止とした。

Q 5 木幡十字路から木幡アンダーの区間で市営バスのバス停が無いので、バス停を作ってほしい。

A 5 市営バスについては、市全体で公共交通機関の充実を図っていくので、ご意見として承る。

平成 28 年 5 月	地域公共交通会議開催。
平成 28 年 6 月	ダイヤ改正実施。
平成 29 年 4 月	巡回ルート等の検討。
平成 29 年 10 月	スクールバス活用について調査研究。

Q 6 県営木幡北山住宅に独居高齢者が多いので、見回りや見守りの仕組みを作ってほしい。

A 6 地域の方に協力を得ながら声掛け活動の支援を市でも行っていく。またワーカーズコープに指定管理の範囲内で見守りをお願いしたいと思う。

木幡北山はつらつ館の指定管理者（労協センター）が対応している。	
・木幡北山県営住宅 高齢者用住宅 42 戸には緊急通報装置が設置済み。	
※夜間の緊急通報の対応は北関東総合警備保障に委託。	
・希望者には、生活支援援助員が毎日訪問して安否確認している。	

Q 7 公民館の東側の道路。ゆるやかな勾配をつけて再整備してほしい。

A 7 都市建設課で現地を確認する。

Q 8 矢板は他の市町に比べて土地が無い。今後区画整理事業を実施する予定は。

A 8 財政が厳しく土地区画整理事業を実施することは難しい。計画的な土地利用を考えて宅地や商業施設の開発を進めていければと思う。

Q 9 矢板駅西地区は将来開発するのか。

A 9 中心市街地の土地区画整理事業は難しい。

平成 29 年 9 月	矢板都市計画区域における土地利用方針を策定。 矢板駅西の新市街地エリアについては、優良農地との調和を図りながら、適切な土地利用を促していく。
平成 30 年 4 月	「暮らしのびのび定住補助制度」の拡充。 矢板駅西地区と矢板那須線バイパス周辺を含む新市街地エリアの住宅取得について「特定地域加算」を追加。

Q 10 通学路の歩道にグリーンベルトをつけてほしい。

A 10 市でできるか確認する。

通学路安全対策推進協議会の中で検討

Q 11 市役所の駐車場がいつもいっぱい。マイカーを止めている市民がいるのか。

A 11 近所の方や職員が来客用の駐車場に置くことはないと思う。

Q12 防災無線の音が割れないようにしてほしい。

A12 防災行政無線の音が聞こえない場合は、メール配信サービスへの登録や電話での放送内容配信サービスで対応いただきたい。

平成 29 年 5 月	防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布
平成 29 年 6 月	防災メール登録及び防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布。
平成 29 年 11 月	防災行政無線放送確認するためのフリーダイヤル（通話料無料）電話番号のチラシを全戸配布。
平成 30 年 1 月	防災行政無線の聞こえ方調査を実施

6 閉 会 20 : 30